

## 光警報装置 - 西日本防災システム

2013 03 29

**3月29日** 総務省消防庁は光を活用した火災警報装置(光警報装置)を医療機関や介護施設に試験導入して、その効果を検証することを決めたようです。

現在の火災警報装置の多くは、大音量の音によって火災の発生を知らせますが、以前から高齢者や聴覚障害者に知らせるには、音だけに頼った現在の装置では十分な役割を果たせないとする指摘が上がっていました。

こうした状況を受けて消防庁では、警報音と同時に強い光が点滅することで、視覚でも非常事態を知らせる「光警報装置」の普及に向け、モデル事業を開始するそうです。同庁は、病院など医療機関5か所や介護施設6か所のほか、商業施設や空港、博物館など計25施設に光警報装置を設置し、それぞれの機関や施設で消防訓練などを行い、その効果や導入に当たっての課題を検証するそうです。さらに「高齢者や障がい者に適した火災警報装置に関する検討部会」が再来年までに策定する、光警報装置に関するガイドラインにも、モデル事業で得られたデータや結果を反映させる方針だそうです。

とてもいいことですね。もっと以前(義務化される頃)に発案されていても良かったのに・・・と思います。

**音と光の警報！ 頼りにしてまーす！**



西日本防災システム

NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ

